

平山英三・平山和子 追悼展

～自然を見つめた二人の画家～

2024年

9月27日(金)～11月30日(土)



『はるがきたよ (くまのえほん3)』(童心社)
神沢利子・文、平山英三・絵



ヒトツバカエデ

『落ち葉』(福音館書店) 平山和子 文と絵 平山英三 構成と写真



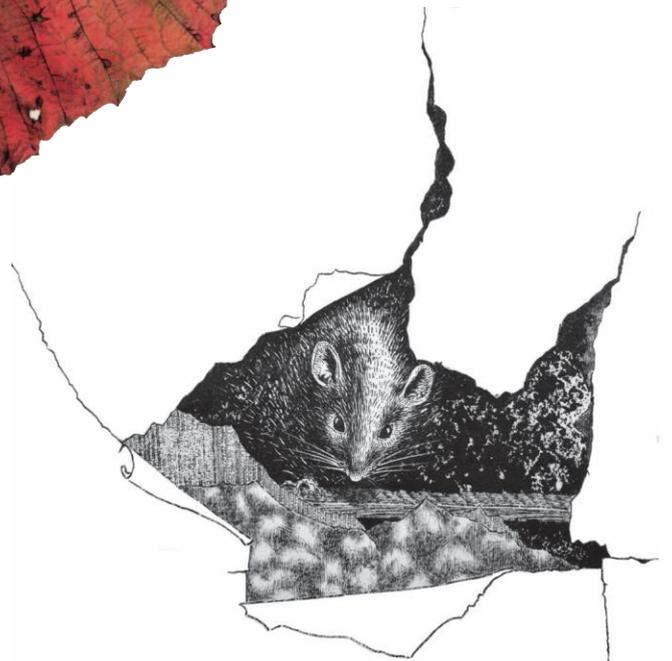
主催 黒姫童話館
協力 平山日菜 杉山良子



『まめ』(福音館書店)
平山和子 文と絵

入館料：一 般 800 円
小中学生 500 円

会場：童話の森ギャラリー



『少年動物誌』(福音館書店) 河合雅雄・文 平山英三・絵

平山英三（1933～2020）平山和子（1934～2022）夫妻と黒姫との出会いは、『山んば見習いのむすめ』（福音館書店1982）の挿し絵の仕事のため、英三氏が黒姫にある、いぬいとみこ氏の山荘を訪れたことに始まります。夫妻でたびたび黒姫を訪れ近くの別荘を借りるようになると、四季を通して落ち葉と出会うことになり、和子氏は本格的に落ち葉を描くことになりました。二人は1987年には黒姫に家を作って移住し、その数年後からは、和子氏の絵を英三氏が一年に一日だけ自宅で展示する、という形の「落葉美術館」を計17回開催しました。



『山んば見習いのむすめ』(福音館書店)いぬいとみこ・作 平山英三・絵

和子氏は1970年『ひやしんす』でデビュー後、『たんぼぼ』、『くだもの』（すべて福音館書店）など多くの絵本を世に送り出してきました。英三氏は1974年『すいか』(福音館書店)でデビュー後、絵本だけでなく本の挿絵や雑誌など、幅広く仕事をされました。二人に共通するのは、常に自然を見つめその姿を絵で描くという点でした。黒姫に暮らすようになってからは、合作『落ち葉』(福音館書店)が生まれました。

今展では、二人が残した絵本原画、および写生の数々と落ち葉の絵をお楽しみください。

『平山英三・平山和子 自然・造形・絵本の世界を歩いた二人の画家』

二人が残した数々の作品の中から、主に未出版の作品を集めた遺作集が刊行されました。詳しくは <https://www.hirayamaart.com>

会場では、遺作集、カード、絵本の販売もあります。



「ハルジョオン」 平山英三・絵



『たんぼぼ』(福音館書店)平山和子 文・絵

黒姫童話館&童話の森ギャラリー

〒389-1303 長野県上水内郡信濃町野尻 3807-30

☎026-255-2250 FAX026-255-2261

開館時間 9時～17時（最終入館時間 16時30分）

会期中休館日 9月30日 10月31日

区分	黒姫童話館	童話の森ギャラリー 共通入館券
個人		
一般	600円	800円
小中学生	400円	500円
団体 20名以上		
一般	500円	600円
高校生	400円	450円
小中学生	300円	350円

おトクな周遊きっぷ

黒姫童話館
& 童話の森ギャラリー
一茶記念館

野尻湖
ナウマンゾウ博物館

3館周遊きっぷ
■ 1,300円 ■ 750円

2館周遊きっぷ
■ 850円 ■ 500円



黒姫童話館ホームページ <https://douwakan.com>

◀こちらから読み取り可能です

※当館は、ペットの入館はできません。外へ係留してください。

●しなの鉄道 北しなの線「黒姫駅」下車 タクシーで15分
●上信越自動車道「信濃町IC」から5km